

関連項目：教育活動プラン②

縦割り班や兄弟学級を通しての活動

目的

本校の児童は、友達と仲良く遊べる児童がたくさんいます。しかし、友達との関わり方がうまくできずトラブルになることもあります。そこで、友達との関わり方を身に付けるとともに、仲間とつながる喜びを味わえるように異年齢集団での活動を取り入れることにしました。

内容

● 縦割り班での異年齢集団活動

週時程の中に児童が仲間作りとしてふれあえる時間を作り取り組んでいる。

「大見っ子運動」毎週水曜日と金曜日（13：40～13：55）

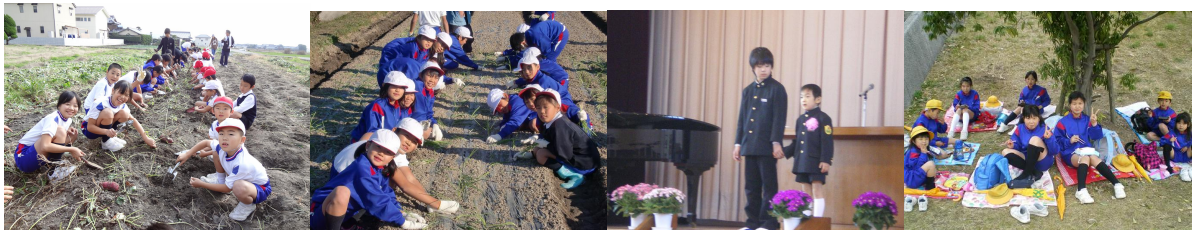
色別で4つの縦割り班として、リレー、縄跳びを中心に運動している。また、体育祭や水泳大会でも色別で綱引きやリレー、水球などを行っている。



● 兄弟学年での活動

生活科・総合的な学習の時間で兄弟学年を決めて活動している。（1・6年、2・4年、3・5年）体験活動・遠足では、兄弟学年と一緒に活動している。

栽培活動では、サツマイモを兄弟学年で収穫した。上学年の児童が下学年の児童に収穫の仕方を教えたり協力して収穫したサツマイモを運んだりしていた。また、タマネギの苗の植え付けでは、兄弟学年で向かい合わせになって苗を植えることができた。入学式では、6年生が1年生を連れてステージに上がり、新入生が自己紹介をした。遠足（4月15日）では、近くの「ふれあいパークみの」へ歩いて行った。6年生が1年生の手を引いて、安全に行くことができた。



● 児童同士での発表の場の確保

全校や低・中・高学年に分かれ、音読発表や学習発表を行った。



成果

5月のなかよしアンケートでは、「学校が楽しくない」と回答した児童が10人もいたが、10月では2人に減ってきた。異年齢集団での取り組みをすることで、同じ学年だけでなく他の学年の児童との遊びもできるようになるとともに、休み時間には仲良くボールゲームや遊具での遊びができるようになってきた。